

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
疾病と治療論 I	1 単位 (30 時間)	小坂 充 (病院医師) 坂口 幸治 (病院医師) 丸山 隆久 (病院医師)	2 年全期

**【学習目標】**

呼吸器系、循環器系の病態を理解し、疾患の成り立ちや特性、検査及び治療の概要を学ぶ

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- 1 呼吸器系の症状とその病態生理
- 2 検査と治療処置 (喀痰検査、胸水検査、内視鏡、生検、呼吸機能検査)
- 3 検査と治療処置 (胸腔ドレナージ、呼吸器外科の手術)
- 4 呼吸器疾患の理解 (感染症、間質性肺疾患)
- 5 呼吸器疾患の理解 (呼吸調整に関する疾患、COPD, 喘息、肺血栓塞栓症)
- 6 呼吸器疾患の理解 (肺腫瘍、縦隔疾患・胸膜疾患・胸部外傷)
- 7 抗がん剤治療・緩和ケア
- 8 循環器系の構造と機能 (心臓、血管)
- 9 循環器系の症状とその病態生理
- 10 診察と診断の流れ、検査 (心エコー、心臓カテーテル、動脈血ガス)
- 11 治療・処置 (外科的、内科的、補助循環装置)
- 12 循環器疾患の理解 (虚血性心疾患、心不全、血圧異常)
- 13 循環器疾患の理解 (不整脈、弁膜症、心膜炎)
- 14 循環器疾患の理解 (心筋疾患、肺性心、先天性疾患)
- 15 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2] 呼吸器 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[3] 循環器 医学書院

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
疾病と治療論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	森廣 雅人 (病院医師) 小林 永幸 (病院医師) 竹内 浩一 (病院医師)	2 年全期

**【学習目標】**

消化器系、代謝・内分泌系の病態を理解し、疾患の成り立ちや特性、検査及び治療の概要を学ぶ。

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- 1 ①食道・胃・十二指腸の疾患と治療① (主に良性疾患) 及び検査について
- 2 ①食道・胃・十二指腸の疾患と治療② (主に悪性腫瘍) 及び外科手術
- 3 ②腸および腹膜疾患と治療 その1 (主に良性疾患) 及び検査について
- 4 ②腸および腹膜疾患と治療 その2 (悪性腫瘍) 及びストーマについて
- 5 ③肝臓・胆のう・膵臓の疾患と治療 その1 (主に良性疾患)
- 6 ③肝臓・胆のう・膵臓の疾患と治療 その2 (悪性腫瘍)
- 7 急性腹症・腹部外傷、
- 8 緊急性と原因のアセスメント
- 9 代謝器官の構造機能
- 10 内分泌器官の構造機能・ホルモンの機能、フィードバック機構
- 11 //
- 12 内分泌系の身体徴候、検査
- 13 内分泌疾患の理解 (総論・各論)
- 14 内分泌疾患の理解 (下垂体の疾患、甲状腺の疾患、副腎疾患、成長ホルモン 他)
- 15 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器 医学書院  
 系統看護学講座 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 医学書院

**【参考書】**

なし

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
疾病と治療論Ⅲ	1 単位 (30 時間)	若宮 一宏 (病院医師) 飯高 雅夫 (病院医師) 堀田 大輔 (病院医師) 佐藤 清隆 (病院医師)	2 年後期

**【学習目標】**

運動器系、女性生殖器系、泌尿器系の病態を理解し、疾患の成り立ちや特性、検査及び治療の概要を学ぶ。

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- 1 運動器疾患の診断・検査と治療・処置
- 2 骨折
- 3 骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折
- 4 手足の神経麻痺
- 5 脊椎疾患
- 6 リウマチ、痛風、炎症性疾患、骨腫瘍
- 7 関節性疾患（変形性膝関節症、股関節症）
- 8 子宮筋腫 子宮内膜症 子宮癌
- 9 卵巣の悪性腫瘍 良性腫瘍
- 10 不妊症 性感染症
- 11 腎・泌尿器の解剖と生理
- 12 腎・泌尿器の検査と治療
- 13 泌尿器・腎臓の癌
- 14 腎不全
- 15 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 成人看護 [10]	運動器	医学書院
系統看護学講座 成人看護 [9]	女性生殖器	医学書院
系統看護学講座 成人看護 [8]	腎・泌尿器	医学書院

**【参考書】**

なし

**【評価方法】**

筆記試験



科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
薬理学	1 単位 (30 時間)	宮崎 多恵 (薬剤師)	2 年前期

**【学習目標】**

薬物の生体の機能に及ぼす諸作用及び体内動態の基礎知識を理解し、薬物の治療的応用並びに有害作用について学ぶ。

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- 1 薬理学を学ぶにあたって
- 2 薬が作用するしくみ (薬力学)
- 3 薬の体内動態 (薬物動態学)
- 4 薬効に影響を及ぼす因子及び副作用
- 5 薬と法律
- 6 抗感染症薬
- 7 抗がん薬
- 8 免疫治療薬
- 9 抗アレルギー薬・抗炎症薬
- 10 末梢神経系に作用する薬物
- 11 中枢神経系に作用する薬物
- 12 循環器系に作用する薬物
- 13 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物
- 14 物質代謝に作用する薬物
- 15 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進[3] 薬理学 医学書院

**【参考書】**

イラストで学ぶ薬理学 医学書院

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
治療論	1 単位 (20 時間)	清水 俊行 (病院医師) 猪瀬 康行 (認定看護師) 東川 雅 (病院看護師) 田幸 代里子 (病院看護師) 坂下 一夫 (病院医師)	2 年後期

**【学習目標】**

各領域・分野に共通する基本的な治療の概要を知り、看護に必要な医学知識を理解する。

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- 1 「痛みの治療」「急性疼痛、がん性疼痛、慢性疼痛」
- 2 「なぜ麻酔が必要か」 手術侵襲と生体反応
- 3 「安全な麻酔管理の実際 1」 術前診察・術前評価・麻酔計画
- 4 「安全な麻酔管理の実際 2」 術中管理・術後管理
- 5 手術侵襲について (痛み、麻酔薬と麻酔方法 麻酔導入の方法 気管内挿管)
- 6 全身麻酔下での看護
  - 皮膚損傷予防
  - 術中の体温管理 低体温予防
  - 術中体位 神経損傷予防
  - 術中の抗菌薬とドレーン管理
  - SSI 手術室における医療安全
  - 深部静脈血栓症
- 7 がん治療総論 放射線治療概論
- 8 化学療法概論 (正常な細胞 がん発生の要因とメカニズム がん検診・治療について  
抗がん剤の種類 主ながんの治療方針)
- 9 化学療法を受ける患者の看護 (副作用と支持療法 看護のポイント 社会資源)
- 10 試験

**【教科書】**

系統看護学講座 別巻1 臨床外科看護総論 医学書院

**【参考書】**

周術期管理チームテキスト 第3版 日本麻酔科学会・周術期管理チーム委員会編

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
リハビリテーション学	1 単位 (15 時間)	竹下 靖 (理学療法士) 石坂 涉 (理学療法士) 竹内 晴美 (作業療法士) 石巻 晃 (言語聴覚士)	2 年前期
<p><b>【学習目標】</b> リハビリテーションの概念と援助技術を学ぶ。</p> <p><b>【授業の進め方】</b> パワーポイントを使用し、スライドを映しながら配布資料に沿って進めていく 講義、グループワーク、実技</p> <p><b>【授業スケジュール】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 リハビリテーションと理学療法</li> <li>2 運動療法と物理療法</li> <li>3 歩行・歩行補助具と車いす (実技)</li> <li>4 基本動作と介助方法 (実技)</li> <li>5 日常生活動作について</li> <li>6 高次機能障害について</li> <li>7 コミュニケーション障害について</li> <li>8 試験</li> </ol> <p><b>【教科書】</b> QOLを高めるリハビリテーション看護 医歯薬出版株式会社</p> <p><b>【参考書】</b> 配布資料</p> <p><b>【評価方法】</b> 筆記試験</p>			